

2009年10月8日付

フィリピン台風「オンドイ」および インドネシア地震・被災者支援開始 現地パートナーと連携、緊急食料などの支援開始

9月26日フィリピンルソン島を襲った台風「オンドイ」、30日インドネシア・スマトラ島沖で発生した大地震による被災者の方々のために、日本国際飢餓対策機構は現地パートナーを通して緊急支援を開始しています。アジア各地で勃発する災害被災者の方々のために、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

●フィリピン:いまだ100万人が避難生活

当機構のフィリピンにおける現地パートナー「ハンズ・オブ・ラブ・フィリピン (HOLPFI)」の酒井保スタッフは、10月4日、国際飢餓対策機構・韓国がこれまで活動を行ってきたメトロマニラのパテロス地区とラグナ湖畔のアレンダ地区に赴き、「全般的に復旧は進んでいるが、ラグナ周辺やメトロマニラのもともと排水が良くなかった地区ではいまだ浸水が続いている」と報告。当機構はHOLPFIを通して、特に緊急避難の生活を余儀なくされ、仕事に行くことができずにいる方々に対して、食糧支援（米、パン、缶詰、コーヒーなど）、日用消耗品の支援を行っています。

●インドネシア:復興も見据えた緊急支援

国際飢餓対策機構インドネシアを通して、震源地近くのパダン市北部に位置するパリアマン地区において緊急支援を行っています。この地区はパダン市の中でもいまだ国際機関やNGOの支援が十分に届いておらず、人々は小高い丘に避難したまま、食料難の状態に陥っているとのこと。

現在、住民が地区のがれき撤去作業に携わることで食料をお渡しする復興支援を行うと共に、国際NGO「Water Mission International」と、飲料水の供給と地区での浄化装置の設置も進めています。また国際NGO「サマリタン・パース」から工具などの供与を受け、地区住民と共に倒壊家屋の修復活動を続けています。

日本国際飢餓対策機構は現在、サモア地震、ベトナム台風、インド南部洪水被災者支援の可能性も探っています。アジアの災害被災者の方々のために、皆様の励ましとご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

フィリピン、インドネシアでの緊急支援活動のために、まずは100万円の必要があります。皆様のご協力をお願いいたします。募金は、郵便振替00170-9-68590日本国際飢餓対策機構まで、記入欄に必ず「アジア緊急援助」とご明記ください。

<お問合せ先>

日本国際飢餓対策機構(JIFH) 大阪事務所 072-920-2225/東京事務所 03-3383-7611

詳しくは JIFH Web サイト「緊急復興支援」 <http://www.jifh.org/acts/emergency/emergency.html> をご覧下さい